

輸出事業計画

申請者名：三重国際食品ビジネス協議会

品目：豆乳・清涼飲料、大豆加工品

抹茶、はちみつ製品、風味油、ドレッシング、日本酒

1. 輸出における現状と課題

【現状】

- 日本の農林水産物・食品の輸出額は近年順調に伸びており、協議会会員企業も輸出拡大に取り組んできた。
- パンデミックによる一時的な輸出減少を経て、コロナ収束後は 海外営業の強化により回復傾向にあった。
- しかし、2023年の福島第一原発の処理水放出を契機に中国が日本産食品の輸入規制を強化。特に海水由来原料を含む製品は全面停止となり大きな打撃を受けた。
- 対応策として米国市場への輸出強化を図ったが、米国が「相互関税」政策を導入し、日本製品の価格競争力が低下。消費者の購買意欲も減退し、輸出量減少の懸念が生じている。

【課題】

- 主要輸出先である中国・米国における規制強化や関税政策の変更により、輸出環境が急速に悪化。
- 中小輸出事業者として、事業継続・拡大のためには以下の対応が必要
 - ・米国市場の影響を最小化するための調査の実施
 - ・代替市場（例：香港）の開拓
 - ・物流・サプライチェーンの最適化による競争力強化

米国市場：影響最小化とプレミアム化

- 地域商社との連携：(株)萬来トレーディングコンサルタントに委託し米国大手輸入商社 見本市へ 商品を出品。現地飲食店での調査も実施。
- 市場調査：「相互関税」政策や第三国生産品の動向を分析。
- ターゲット層の明確化：価格影響を受けにくい高所得者層向けに「プレミアム日本産食品」路線を強化。
- 商品開発：ウェルネス市場の拡大を背景に、健康食品や代替不可能な差別化商品を開発。

香港市場：代替市場としての開拓

- 現地拠点の設置：サンプル保管・商談可能な拠点を香港に設置。
- テストマーケティング：独自ECを活用し、参画事業者が自由に商品テストを実施可能な体制を構築。
- PR活動：現地商社バイヤー向けの商品PRイベントを開催。
- 中華圏展開：香港を貿易ハブとし、地域商社ネットワークを活用して中国・香港・台湾への販路拡大を目指す。

国内市場：展示会を活用した販路開拓

- SMTS出展：スーパーマーケット・トレードショーに協議会として ブース出展。

その他：物流・サプライチェーンの最適化

- 香港拠点の活用：マーケティングルームや倉庫を設置し、交渉力と競争力を強化。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制

PDCAシート	
①PLAN	②DO
<ul style="list-style-type: none"> ・市場調査の実施 米国展示会にて反応など調査し、輸出拡大に向けた商品特性・価格帯・販路条件を明確化する。 ・販促・営業活動計画 香港での商談会やイベントを企画し、現地バイヤー・流通業者とのマッチングを計画的に進める。 ・サンプル供給体制の整備 現地倉庫を借り、輸送された製品サンプルを保管・管理し、即応性の高い営業活動に活用できる体制を準備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・香港イベント・商談会開催 共同ブース設置や試食・展示を行い、各社の強みを発信する。通訳・現地スタッフを配置し、商談機会を最大化する。 ・米国市場調査活動 ▶ 萬来トレーディングコンサルタントに依頼し展示会にて調査行い、バイヤー・流通業者へのヒアリングを実施する。 ・倉庫・物流の活用 現地倉庫を拠点としてサンプル配送や営業訪問を行い、商談スピードを高める。
▲	▼
④ACTION	③CHECK
<ul style="list-style-type: none"> ・商品・戦略のブラッシュアップ 得られた調査結果や商談フィードバックを基に、輸出向け商品の改良やプロモーション手法を見直す。 ・体制強化 営業担当者の育成や現地パートナーとの連携強化を図り、継続的な市場展開へ発展させる。 ・次年度計画への反映 本事業の成果と課題を整理し、次期の輸出拡大計画・補助事業申請に活かす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・商談結果の分析 成約件数、フィードバック内容を整理し、次の販促活動へ反映する。 ・市場調査の成果確認 ◀ 調査で得られたデータを整理し、商品改良・価格設定・輸出戦略に活かす。 ・倉庫運用の評価 サンプル配送の迅速性、在庫管理精度、コスト効率を検証する。

4. 輸出目標額

※輸出先国と輸出する農林水産物・食品の現状及び目標金額を記載すること

輸出品目：豆乳・清涼飲料		現状 (令和6年)	目標年 (令和10年)	備考
三重地区	輸出額(千円)	14,400	15,896	
	輸出量 (t)	31.3	34.55	
	輸出先国	香港・米国	香港・米国	
	生産量 (t)	53	61	
輸出品目：大豆加工		現状 (令和6年)	目標年 (令和10年)	備考
三重地区	輸出額(千円)	67,000	75,044	
	輸出量 (t)	134	148	
	輸出先国	香港・米国	香港・米国	
	生産量 (t)	338	565	
輸出品目：抹茶		現状 (令和6年)	目標年 (令和10年)	備考
三重地区	輸出額(千円)	25,000	77,265	
	輸出量 (t)	8.4	15.45	
	輸出先国	香港・米国	香港・米国	
	生産量 (t)	300	800	
輸出品目：ハチミツ製品		現状 (令和6年)	目標年 (令和10年)	備考
三重地区	輸出額(千円)	8,000	8,830	
	輸出量 (kg)	9.14	10.208	
	輸出先国	香港・米国	香港・米国	
	生産量 (kg)	6,000	10,000	

4. 輸出目標額

輸出品目：風味油		現状 (令和6年)	目標年 (令和10年)	備考
三重地区	輸出額(千円)	9,500	10,486	
	輸出量 (kg)	4,235	4,723	
	輸出先国	香港・米国	香港・米国	
	生産量 (kg)	200,000	220,000	

輸出品目：ドレッシング		現状 (令和6年)	目標年 (令和10年)	備考
三重地区	輸出額(千円)	1,050	1,160	
	輸出量 (kg)	665	734	
	輸出先国	香港・米国	香港・米国	
	生産量 (kg)	26,000	28,600	

輸出品目：日本酒		現状 (令和6年)	目標年 (令和10年)	備考
三重地区	輸出額(千円)	4,900	5,410	
	輸出量 (kl)	6.50	7.17	
	輸出先国	香港・米国	香港・米国	
	生産量 (kl)	216	238	